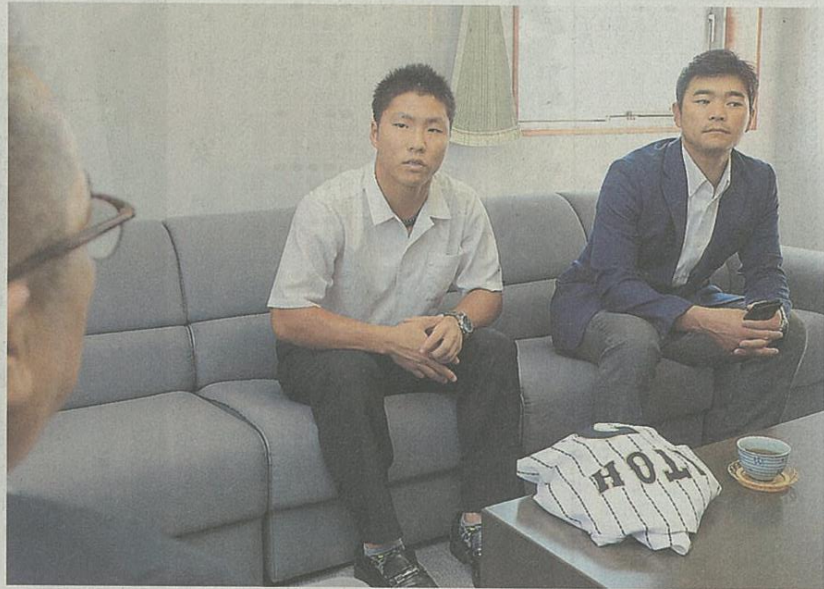


伊藤(光星)「大学でプロ目指す」



野球U-18 アジア制覇 八戸支社を訪問

高校日本代表が2大会ぶり5度目の優勝を果たした野球のU-18(18歳以下)アジア選手権で、メンバー入りしていた伊藤光星(八戸学院大学)が15日、東奥日報社八戸支社を訪れ、采田正之支社長と懇談した。伊藤は「大学ではプロを目指して頑張りたい」と意気込みを語った。支社には伊藤と、同校

日本代表戦を振り返る伊藤光星と小坂部長

硬式野球部の小坂貫志部長が訪れた。

伊藤選手は日本代表が戦った6試合のうち、5試合に2番セカンドとして出場。得意とする走塁で4盗塁を奪つなどして、優勝に貢献した。

伊藤は「日本代表のユニホームには重圧を感じたが、責任感を持って戦うことができた」と振り返った。試合は準決勝の韓国戦が印象深かったといい、「日本の野球に似ていた。やりづらかった」と語った。

将来は教員として高校生に野球の指導をしたいと考えていたが、日本代表入りを果たし、進学後も野球に打ち込むことを決意した。「走塁が自分の武器なので、大学ではさらに磨きをかけた」と意気込みを語った。采田支社長は「大学でも1年生からどんどん活躍してほしい」と激励した。(樋渡慎弥)